

環境報告

クボタグループは、CSR経営の一環として地球環境保全を事業経営の最重要課題と位置付け、自らの事業活動が全方位で地球環境に配慮した企業グループとなるよう活動レベルを上げていきます。

基本方針

クボタグループ環境宣言

クボタグループは、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現を目指し、地球環境・地域環境の保全に配慮した企業活動を行います。

クボタグループ 環境基本行動指針

- | | | |
|---|-----------------------------------|--|
| 1 | クボタグループは、すべての企業活動において環境保全に取り組みます。 | ①法令を遵守するとともに、自主的に具体的な目標を定め推進します。
②製品開発、生産、販売、物流、サービスなど企業活動のすべての段階で推進します。
③取引先企業においても、環境保全活動への理解と協力を率先して推進します。 |
| 2 | クボタグループは、地域社会との共生を図る環境保全に努めます。 | ①企業市民として、地域の環境美化・環境啓発活動に参画します。
②公害の未然防止など地域の環境保全に留意した事業活動に努めます。 |
| 3 | クボタグループは、環境保全に計画的に取り組みます。 | ①環境アセスメントを実施し、環境リスクの低減を図り環境汚染の未然防止に努めます。
②地球温暖化の防止、循環型社会の形成、有害化学物質の削減等の環境問題の解決に努めます。 |
| 4 | クボタグループは、環境管理を徹底します。 | ①環境マネジメントシステムを導入し、日常の業務に組み込み推進します。
②環境管理活動のP・D・C・Aサイクルが機能していることを自主的に監査し、常に高い目標に挑戦します。
③環境に関する啓発・教育活動を推進し、環境意識の向上を図ります。 |
| 5 | クボタグループは、環境コミュニケーションを積極的に推進します。 | ①環境情報をステークホルダーに対して速やかに、わかりやすく発信します。
②ステークホルダーから、広く環境情報を収集し環境保全活動の見直しを行います。 |

▶ 環境経営の基本方向

環境と経済が調和した持続可能な社会の構築を目指すクボタグループの環境経営の基本方向として、「地球温暖化の防止」「循環型社会の形成」「化学物質の管理」の3項目を定め、その基盤として「環境マネジメントシステム」と「環境コミュニケーション」の充実を図っていきます。

